

《担当者名》准教授 / 大橋 敦子

【概要】

脳機能に関する研究は、学習や認知・行動などの神経機構の解明に加えて、神経幹細胞の研究に代表されるように、脳の老化や神経・精神疾患の治療・予防に大きな役割を果たしつつある。本特論では、神経細胞やチャネル分子レベルでの研究から個体レベルでの高次脳機能解析研究における最近の革新的知見を通して脳の多様な機能を理解し、種々の精神疾患の病態や成因について、最新の知識を修得する。

【学修目標】

統合失調症、気分障害、パーキンソン病、アルツハイマー型認知症、てんかんについて、成因と治療法に関する最新の研究成果を説明できる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1 }	統合失調症	最新の研究成果を検索し、その成因と治療法を概説できる。	大橋 敦子
2			
3 }	気分障害	最新の研究成果を検索し、その成因と治療法を概説できる。	大橋 敦子
4			
5 }	パーキンソン病	最新の研究成果を検索し、その成因と治療法を概説できる。	大橋 敦子
6			
7 }	アルツハイマー型認知症	最新の研究成果を検索し、その成因と治療法を概説できる。	大橋 敦子
8			
9 }	てんかん	最新の研究成果を検索し、その成因と治療法を概説できる。	大橋 敦子
10			

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席・学習態度(30%)およびレポート(70%)により成績を評価する。

【教科書】

随時プリントを配布する。

【学修の準備】

資料を読み、内容について調査・検討を行う。